

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計						事業主体	04400000	市民協働部 スポーツ振課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費		06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合					目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから									
小事業	01	生涯スポーツ推進事業		目標年度	令和6年度							



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	スポーツは健康的なライフスタイルを促進する上で非常に重要であり、コミュニティを形成し協力、チームワークなどの社会的なつながりを促進する。本市のスポーツ実施率は、国や県と比較して低い状況にあるが、スポーツを始めるきっかけが少ない現状がある。				
	事業目的	(1) 対象 市民 (2) 目的 スポーツフェスティバルや出前講座（高齢者、子ども向け）の開催、障がい者スポーツの推進し、スポーツの楽しさを伝え、スポーツをはじめるきっかけを創出し、スポーツ実施率の向上を目指す。また「スポーツ・イン・ライフ」を実現し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。				
	事業概要	これからスポーツをはじめたいと考えている人のための体験会や、家族で参加できるイベント（スポーツフェスティバル）を開催し、生涯にわたりスポーツを楽しむきっかけを提供する。また、出前講座を実施し、手軽に行える軽スポーツの普及を図る。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	550	420	402	486	522
	決算額	339	116	204	421	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	302 / 179				



アウト プ ット	活動指標（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	新種目の設置や内容の見直し件数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	0	2	1	



アウト カ ム	K P I（単位）		R02	R03	R04	R05	R06
	参加者数（スポーツフェスティバル+ 出前講座）	目標値	710	740	770	800	320
		実績値	198	0	139	305	

実
績



評
価
分
析

実 績	参加者数 305人 ・スポーツフェスティバル 参加者122人 10/15 フィットネス・親子スポーツ・レク体験 ・出前講座 受講者183人 6/20、7/21、8/2(中止)、8/22、8/23、1/19、1/26 3/12、3/19
効 果	スポーツフェスティバルや出前講座を実施することにより、幅広い年代層にスポーツの楽しさを伝え、スポーツをはじめるきっかけを創出することができた。

活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	スポーツフェスティバルで、ラダーゲッターを取り入れるなど内容の見直しを行い、集客に努めるようにした。
K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍を経てスポーツフェスティバルは開催出来ており、出前講座の開催回数も徐々に増えてきたものの、コロナ前の人数に戻っていないため、参加者数が目標値より少なかった。出前講座については依頼件数がコロナ前より減っているのが要因と考えられる。 現実的な目標値となっていないため、R6以降の目標値を変更する。
実績からR06年度の 事業の方向性	R06年度についても引き続き、フェスティバルは幅広い年代層が参加できるようなプログラムを計画し、参加者の増を目指す。 スポーツフェスティバルについては、岐阜県レクリエーション協会より指導者派遣をしていたが、R5年度実施したラダーゲッターではない新種目の体験を行う予定である。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	04400000	市民協働部 スポーツ振課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	02	ウォーキング推進事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	本市のスポーツ実施率は、国や県と比較して低い状況にあり、幅広い年代層からこれからやってみたいスポーツとして、ウォーキングが求められている。				
	事業目的	(1) 対象 市民 (2) 目的 日常生活の中で手軽にできる“ウォーキング”を推奨することで、スポーツ実施率の向上を目指し「スポーツ・イン・ライフ」を実現し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。 楽しみながら歩くことのきっかけの創出 / 自発的なウォーキングの習慣化を支援 / 全身運動や下半身への負担が少ないポールを使うことで、より健康的なウォーキングの普及				
	事業概要	市内の観光施設を中心に年間8回ウォーキングイベントを開催することで、運動習慣のきっかけを創出する。(健康課との共催事業) 長期間に一定以上の歩数を歩いた人に賞品を贈呈することで、市民がウォーキングを習慣化するのきっかけを創出する。 ポールを使ったウォーキング講習会の実施や備品の貸出を実施し、ポールウォーキングの普及を図る。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	2,352	2,409	1,863	1,652	1,498
	決算額	1,097	1,422	996	1,428	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	403 / 897				

アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	イベント内容の改善数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	1	1	2	1	

アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	「ウォークみのかも」参加者数	目標値	2400	2500	2600	2600	1800
		実績値	538	1155	1441	1621	

実 績	実 績	○参加者総数 1,621人 里山公園(4月): 271人 健康の森(5月): 201人 木曽川(6月): 212人 米田白山(11月): 161人 前平公園(12月): 210人 文化の森(1月): 0人(雨天のため中止) 木曽川(2月): 264人 伊深(3月): 302人
	効 果	年間8回ウォーキングイベントを開催し、運動の習慣化のきっかけとすることができた。また、ポールウォーキング講習会を開催し、より効果的な運動効果を体感する機会を提供できた。

評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	LOGOフォームにて参加申込みを開始し、事後の申込みにかかる受付に時間がとられなくなった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	「ウォークみのかも」の参加者数については、コロナ禍や雨天中止の影響もあり、目標値を達成することができなかった。また、コロナ禍を経て、ウォーキングなどの運動が習慣づけられている人が増えたことも背景にあるかもしれない。 達成が現実的ではない目標値となっているためR6以降の目標値を変更した。
	実績からR06年度の 事業の方向性	R06年度についても引き続き、楽天ブログやすぐメールなどを活用し、参加者増につなげる。また、人が集まり過ぎることのないよう、開会式を行わず、流れスタートで流れ解散で蜜を避けた運営とする。 R5年度と異なる景色を楽しんでもらうため、コースの時期を入れ替えることや新コースの設置も検討していく。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	03	市民大会開催事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	地域の関係性が希薄化する中、スポーツ活動を継続していくには同じ目標を持つ仲間と結束することが重要である。 また、市民が普段から親しんでいるスポーツの練習の成果を発揮できる場が求められている。				
	事業目的	(１)対象 市民 (２)目的 市民が気軽に参加でき、日頃の練習の成果を発揮できる大会の開催し、「スポーツ・イン・ライフ」を実現、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。				
	事業概要	市民大会を開催し、日頃の練習の成果を発揮できる大会を開催する。 ○大会種目(全10大会) バレーボール/バドミントン/陸上競技/卓球(年2回)/ソフトバレーボール(女子・混合)/ミニテニス/自治会親善野球(軟式)/自治会親善レディースソフトボール				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	676	1,706	1,719	1,735	1,539
	決算額	220	282	624	456	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	403 / 0				

アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	参加要件の見直しや新たな大会の開催数	目標値	1	1	1	1	1
		実績値	0	0	1	1	

アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	市民大会参加者数	目標値	3600	3600	3600	3600	2100
		実績値	0	0	500	2063	



実 績	実 績	○参加者総数 2,063人 レディースソフトボール大会(中止) 市民卓球大会 春季230人・秋季169人 市民ソフトバレーボール大会 女子36人 混合118人 自治会野球大会 1,007人 市民バレーボール大会 152人 ミニテニス交流大会 50人 市民陸上大会 231人 市民バドミントン大会 70人
	効 果	7大会(卓球(2回)、ソフトバレーボール(女子)(混合)、自治会親善野球、市民バレーボール大会、ミニテニス交流大会、陸上競技大会、バドミントン大会)を開催し、普段の練習の成果を発揮できる場を提供することができた。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	参加チームの構成枠を広げ自治会の連合チームや連区での出場を認め、参加チームを増やすようにした。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍の影響により中止した大会があったり、コロナ明けで参加者が以前のように戻ってきていないような状況で、目標値を達成することができなかった。コロナ禍を経て、大会に参加できるチームが減ってしまったことも要因と考えられる。 現実的ではない目標値となっていたため、R6以降の目標値を変更する。
	実績からR06年度の 事業の方向性	R5年度は市民卓球大会でラージボール卓球は開催見合わせにしていたが、R6年度からは、西体育館で開催する。また、例年8月の猛暑の中実施していた自治会親善野球大会の開催時期を見直し9月へ変更することに加え、試合成立時間を1時間20分から1時間30分に変更する。 参加者制限は可能な範囲で緩和していくことで参加者を増やしていく。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費		01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	04	ちゅうたいクラブ事業		目標年度	令和6年度						

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	定期的なスポーツ活動の機会の喪失により免疫機能が低下し生活習慣病などを引き起こす恐れがある。 市民が初心者でも気軽に参加してスポーツすることができる機会の提供を求められている。				
	事業目的	(1)対象 市民 (2)目的 市民にスポーツ活動の場を提供することで、スポーツ実施率の向上と「スポーツ・イン・ライフ」を実現し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図る。				
	事業概要	市民一人ひとりの年齢や性別、関心や適性等に応じた多種多様なスポーツ活動の場を提供する。 ○クラブ種目(全18種目) ○参加者から会費徴収 1期会費1,500円(1期3か月を単位) ○運動体験教室 運動教室48回、トレーニングジム体験の通年開催 500円/回				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	7,055	7,370	7,534	7,556	7,214
	決算額	5,266	5,931	6,873	7,125	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	403 / 358				

アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	新種目の設置や種目内容の見直し 件数	目標値	2	2	2	1	1
		実績値	2	2	1	1	

アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	ちゅうたいクラブ参加者総数	目標値	20000	20500	21000	21000	21000
		実績値	7712	12905	18310	19263	



実 績	実 績	○参加者総数 19,263人(全19種目) ちゅうたいクラブ18,386人 運動体験教室 586人、キッズ 260人 トレーニングジム体験 31人
	効 果	スポーツ実施率を向上し、心身の健康増進、健康寿命の延伸を図ることができた。各参加者は関心や適正に応じて多種多様なスポーツを実施出来ている。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	ちゅうたいクラブ内のジュニア総合スポーツにおいて、活動内容の計画を作成し、利用する参加者に内容について説明するように改善した。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	コロナ禍を経てスポーツ以外の趣味に移行した人も多いと考えられ、以前の参加者に戻ってはならず、目標値の達成には至っていないが、右肩上がりとなっているため、今後もこの傾向が続くようにすることが重要である。
	実績からR06年度の 事業の方向性	R5年度までは、ちゅうたいクラブ(ジュニア種目を除く)は四半期ごとの期間としていたが、R6年度からは半期ごとの期間とし、参加者の継続性を図るように変更していく。 また、市のみで参加者増を狙うのではなく、ちゅうたいクラブ講師の意見も聞きながら会員の増加を図っていくこととする。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課		
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費	02	保健体育施設費	
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%	
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから								
小事業	05	牧野ふれあい広場整備事業		目標年度	令和6年度						



イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	本市には陸上競技場、アーチェリー場の専用施設がなく、それぞれの協会も長年施設整備の要望をされてきた。また、牧野ふれあい広場は都市公園であり、美濃加茂市地域防災計画においても地域防災拠点に位置付けられており、市東部地域の防災の要、防災拠点となる公園を整備し、この公園を核とした地域コミュニティの形成を図りたい。				
	事業目的	(1)対象 全市民・施設利用予定者 (2)目的 牧野ふれあい広場(地域防災拠点機能を有する多目的グラウンド等)を整備することで、安心安全なまちづくりを進めるとともに、スポーツ活動を中心とした地域間交流とコミュニティを創出する。				
	事業概要	牧野ふれあい広場整備 市民スポーツ(競技スポーツ、生涯スポーツ、健康スポーツ)の振興を図るため、牧野ふれあい広場の整備を進める。 地域防災拠点機能を備えた400mトラックを中心とする陸上競技場等の整備を目指す。				
	事業費(千円)	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	16,903	165,942	428,557	239,672	545,547
	決算額	4,663	164,786	426,618	239,092	
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		698 / 538				



アウト プ ット	活動指標(単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	現利用者からの要望対応率(%)	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	100	



アウト カ ム	K P I (単位)		R02	R03	R04	R05	R06
	牧野ふれあい広場の整備率(%)	目標値	24.84	50.51	50.13	65.06	100
		実績値	24.84	38.12	42.79	64.54	

実
績

効
果



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	要望対応率は目標値を達成している。 事業計画の変更を行った事により、計画に遅れが出ている。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	R5事業が仕様変更により繰越となっており、未達成となった。
	実績からR06年度の 事業の方向性	R6年度が最終年度のため、全体計画に支障が出ないよう進捗管理をしていく必要がある。

令和５年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	04400000	市民協働部 スポ振課	
大事業	A1	6つのまちづくり宣言	健康増進	款項目	09	教育費	06	保健体育費	01	保健体育総務費
		目指す姿	生涯健康で、元気に生きる！	K P I	健康寿命の延伸 健康増進に積極的に取り組んでいる人の割合				目標値	(男性)81.00歳(女性)86.00歳 70.0%
中事業	01	主要な取り組み	まず一歩、健康はウォーキングから							
小事業	13	かもけんウォーキング事業（定住）		目標年度	令和6年度					

イン プ ット	事業実施の 背景にある課題	現在各圏域で行っているウォーキング事業では、参加者が固定化し、コースがマンネリ化している状況がある。 また、それぞれの地域に歩いてみたくなるような魅力的な資源があるが、情報発信がうまくできていない状況がある。 今後各々の市町村でのコース設定には限りが出てくるため、そうなると参加者の減少といった課題がでてくる。				
	事業目的	(1)対象 幅広い年代の圏域住民 (2)目的 ウォークをすることで、健康への意識付けと、運動習慣を身に付けるきっかけづくりを行い、その結果として健康寿命が延び、医療費の削減につながる。また、コースの途中に休憩ポイントを設置し、そこで各市町の特産品の試食などを行い、地域を知ってもらう、あるいは地域交流の場とする。フィールドを圏域に広げ、ウォーキング+楽しみの付加価値を付けることにより今までウォーキングに興味がなかった層に対してもアプローチができる。				
	事業概要	年に1回、各市町村持ち回りでウォーキングイベントを行い、圏域から参加者を募集する(イベント内容は市町村で工夫する)。 ウォーキングコースに休憩ポイントを数か所設置し、それぞれの市町村に担当してもらい、地域の特産品等を試食してもらう。				
	事業費（千円）	R02	R03	R04	R05	R06
	予算額		100	550	568	453
	決算額		53	0	449	
	年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)	10 / 0				

アウト プ ット	活動指標（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	年に1回開催	目標値	0	1	1	1
		実績値	0	0	1	

アウト カ ム	K P I（単位）	R02	R03	R04	R05	R06
	参加者数200人	目標値	0	200	200	200
		実績値	0	0	120	



実 績	実 績	・ぎふ清流里山公園とみのかも健康の森を往復する7.5kmのコースを設定した。距離が長いので、復路はあい愛バスを使用される方がいた。また、途中歩道がない部分も多いこと、雑草が多い部分があり、安全管理が大変であったことなど課題があった。 ・各機関協力の下、コース上に山之上まちづくり協議会、三和まちづくり協議会、伊深まちづくり協議会のブースを、また、ゴールには東白川村及び美濃加茂市観光協会のブースを設置し、参加者に地元の特産等を味わってもらった。
	効 果	ウォーキングをするきっかけとなる点や、地域を知ってもらうという点では意義があるかもしれないが、参加者の9割以上が美濃加茂市民であり、東白川村民の参加者は0であった。周知不足ということも十分考えられるが、この状態では美濃加茂市の単独事業として行っている「ウォークみのかも」との差がなく、「定住事業」として行うことのメリットが薄い状態である。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	活動指標「年に1回開催」ということに関しては、東白川村と連携し、開催することができた。開催にあたり、東白川村、美濃加茂市観光協会、3地区のまちづくり協議会の協力も得られ、当日はコース上やゴール付近にブースを設置し、参加者には美濃加茂市や東白川村の特産を味わっていた。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	成果指標「参加者数200人」に対して、実績は120人の参加であった。また、参加者のうち9割が美濃加茂市民であり、東白川村民の参加はなかった。周知不足ということも考えられるが、次回以降の周知方法さらには事業のあり方について検討をしていきたい。
	実績からR06年度の 事業の方向性	令和6年度については、東白川村で実施予定である。地域を知っていただけのような魅力あるコース設定を行うことはもちろんであるが、美濃加茂市で開催した際、東白川村の参加が0であったため、令和6年度事業について圏域の住民に幅広く参加していただけるよう、周知、開催時間等の改善を行いたい。